

## 聶耳記念碑取材 藤嶺藤沢新聞部



新聞部は12月6日に鶴沼海岸(県立湘南海岸公園)へ取材に行ってきました。今回、中国の吉林大学附属中学高校が来校されると聞いて、私達は中国国歌の作曲者である聶耳(ニエアル)氏について公園内にある聶耳記念碑を訪れました。中国国歌の作曲者の記念碑が藤沢にある事にとっても驚きました。

### 聶耳(ニエアル)氏の紹介

中華人民共和国の国歌「義勇軍行進曲」の作曲者である聶耳氏は、1912年(明治45年)2月15日、雲南省昆明市で誕生しました。父は漢方医で薬局を営み、母と3人の兄、2人の姉の五人兄弟で生活を送っていました。4才のときに父親を亡くし、治療のため家の財産を使い果たしてしまい、このときの葬儀の費用を親戚友人の援助を頼らなければならず、母が引き続き薬局を経営したが、貧しい生活を送っていました。親戚友人から学費を立て替えてもらい、昆明県立師範附属小学校に入学し、成績はいつも優秀でした。この頃から笛や、胡弓、月琴や風琴などの民族楽器の演奏を学びました。音楽では全校に並ぶ者はなく、音楽の才能を発揮していました。1930年に上海に渡り、貧しい生活を送りながらもバイオリンの独学を休まず続け、翌年、「明月歌舞団」のバイオリニストに採用され、職業音楽家として作曲の理論や和声学を学びました。このころから作曲を手掛けるようになりました。「義勇軍行進曲」を作曲した年の1935年(昭和10年)、日本を訪れていた聶耳は7月17日の午後、友人と遊泳中の鶴沼海岸で帰らぬ人となりました。「義勇軍行進曲」は1949(昭和24年)に中華人民共和国の国歌となりました。

(<https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/jinkendanjo/kyoiku/bunka/toshikoryu/shimai/chugokukokka.html>より作成)

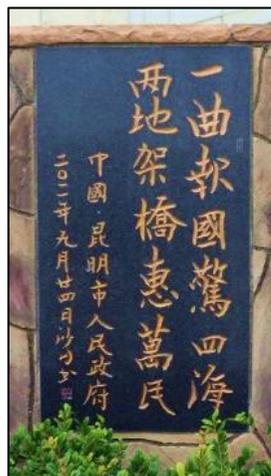
藤嶺中学新聞社12月6日赴鶴沼海岸(県立湘南海岸公園)进行采风。这次听闻吉林大学附属中学的同学们来我校访问,大家很高兴,所以特地去了为中国国歌作者聂耳所设立的聂耳纪念碑进行实地学习。同学们在参观并了解了聂耳这一人物后都感慨颇深,对于藤泽市与中国的渊源也有了进一步的了解。

### 聶耳简介

中华人民共和国国歌作者聂耳,1912年2月15日出生于云南省昆明市。他的父亲是当地的一名中医,有自己的医馆,家里还有母亲、三个哥哥、还有两个姐姐。不幸的是在聂耳四岁时父亲便因病去世了,而为父亲医病所花的费用也使这个家庭陷入困难。虽然如此,母亲仍然坚持,通过向亲戚借钱来让聂耳继续学业。聂耳小学上的是昆明县立师范附小,学习成绩非常优秀,同时在文化艺术方面也学习了笛子、胡琴、风琴等的民族乐器的演奏,而且技艺超群,充分的发挥了其音乐的天赋。1930年,聂耳远赴上海继续自学小提琴演奏,翌年加入“明月歌舞团”任小提琴手。在乐团里,他开始作为职业音乐人学习声乐及作曲。1935年聂耳在日本作成“义勇军进行曲”,但不幸的是,同年7月17日他在与朋友于鹤沼海岸游泳时不幸溺水身亡。而“义勇军进行曲”在1949年成为了中华人民共和国的国歌。【張鳴浩 訳(中国語講師)】



新聞部員 左から 井上晴道 櫻山翔太 荒嶋航成 井上晃喜



### 【藤沢市の記念碑の説明文】

この記念碑、碑文と広場は、中国国歌作曲者の聶耳(ニエ・アル)先生が一九三五年七月七日にこの地で不帰の客となったことを悼み、先生の偉大な功績をたたえるため、先生を敬愛する藤沢市民が中心となって設置し、守り続けてきたものです。そして聶耳先生の縁をなかだちとして、一九八一年十月五日には藤沢市と聶耳先生の出身地である昆明市とが友好都市提携を結び、これまでの両市の相互理解と信頼、及び友情関係を深めてまいりました。これからは永きにわたり、この記念広場を日中友好平和条約の拠点として、両国民がお互いを敬愛しあい、心と心の真の交流が深まることを願っています。

此纪念碑・纪念碑文・纪念广场是为悼念於一九三五年七月十七日在此成为不归之客的中国国歌作曲者聂耳先生，并颂扬先生的伟大功绩，由崇敬先生的藤泽市民主导而建成的。  
藤泽市民一直守护至今。

由于聂耳先生的缘分，藤泽市於一九八一年十一月五日和先生的故乡昆明市结为友好城市。长期以来，两市之间的相互理解、信赖和友好关系得到不断加强。

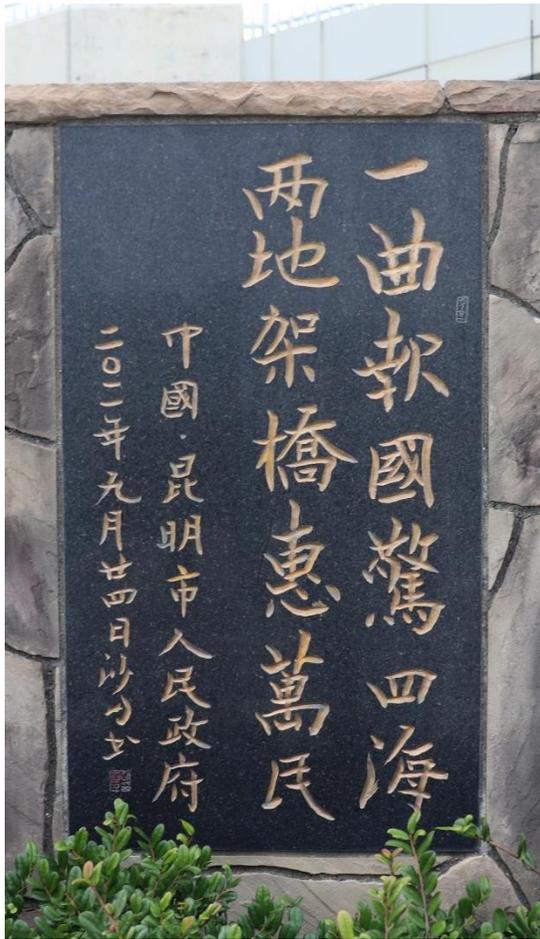
在今后漫长的岁月中，这里将成为日中友好和平交流之地。  
愿两国人民相互尊重，加深真心诚意的交往。

藤泽市

この記念碑・碑文と広場は、中国国歌作曲者の聶耳（ニエール）先生が一九三五年七月十七日にこの地で不帰の客となったことを悼み、先生の偉大な功績を称えるため、先生を敬愛する藤沢市民が中心となって設置し、守り続けてきたものです。そして聶耳先生の縁をなかたちとして、一九八一年十一月五日には藤沢市と聶耳先生の出身地である昆明市とが友好都市提携を結び、これまで両市の相互理解と信頼、及び友情関係を深めてまいりました。これからも永きにわたり、この記念広場を日中友好平和交流の拠点として、両国民がお互いを尊敬しあい、心と心の真の交流が深まることを願っています。

藤沢市





藤岭中学新闻社 12 月 6 日赴鹤沼海岸（县立湘南海岸公园）进行采风。这次听闻吉林大学附属中学的同学们来我校访问，大家很是高兴，所以特地去了为中国国歌作者聂耳所设立的聂耳纪念碑进行实地学习。同学们在参观并了解了聂耳这一人物后都感慨颇深，对于藤泽市与中国的渊源也有了进一步的了解。

#### 聂耳简介

中华人民共和国国歌作者聂耳，1912 年 2 月 15 日出生于云南省昆明市。他的父亲是当地的一名中医，有自己的医馆，家里还有母亲、三个哥哥、还有两个姐姐。不幸的是在聂耳四岁时父亲便因病去世了，而为父亲医病所花的费用也使这个家庭陷入困难。虽然如此，母亲仍然坚持，通过向亲戚借钱来让聂耳继续学业。聂耳小学上的是昆明县立师范附小，学习成绩非常优秀，同时在文化艺术方面也学习了笛子、胡琴、风琴等的民族乐器的演奏，而且技艺超群，充分的发挥了其音乐的天赋。1930 年，聂耳远赴上海继续自学小提琴演奏，翌年加入“明月歌舞团”任小提琴手。在乐团里，他开始作为职业音乐人学习声乐及作曲。1935 年聂耳在日本作成“义勇军进行曲”，但不幸的是，同年 7 月 17 日他在与朋友于鹤沼海岸游泳时不幸溺水身亡。而“义勇军进行曲”在 1949 年成为了中华人民共和国的国歌。